

平成25年 2月15日
消 防 庁

住民への災害情報伝達手段の多様化実証実験

消防庁は、各自治体と連携して、住民への災害情報伝達手段の多様化の実証実験を行います。

1 事業の概要

消防庁では、東日本大震災の教訓を踏まえ、災害情報伝達手段の多様化に係る推奨仕様書の策定を行うため、6自治体において市町村防災行政無線（同報系）を中心とした住民への災害情報伝達手段について多様化に係る実証実験を行うこととしています。このたび、このうち一部の実証実験が実施されることとなりました（各自治体からの提案については参考資料をご覧ください。）。

2 平成25年2月における実証実験

東京都江東区	平成25年2月16日（土）～2月24日（日）
千葉県旭市	平成25年2月20日（水）
岩手県釜石市	平成25年2月22日（金）～2月27日（水）
岩手県大槌町	平成25年2月23日（土）
宮城県気仙沼市	平成25年2月23日（土）

3 実証実験の概要

詳細については、別添1のとおり。



連絡先

消防庁国民保護・防災部防災課防災情報室

担当：鳥枝補佐、矢部係長、河田事務官

電話 03(5253)7526（直通）

FAX 03(5253)7536

江東区の実証実験概要

1 実施日時

平成25年2月16日（土）～2月24日（日）

2 実施場所

江東区 亀戸・西大島・東陽町・門前仲町・豊洲駅前エリア

3 実証実験項目

- （１）高性能スピーカの音達実験（西大島駅前エリア）
- （２）ネットワークカメラの効果実験
- （３）WiFi ホットスポット実験・エリアワンセグ放送実験
- （４）IP 音声システムの効果実験
- （５）IP 電話の効果の検証
- （６）統合型災害情報伝達システムの操作性の検証
- （７）レインボータウンFM(79.2MHz)を使った放送

4 検証、効果測定方法

実験参加者へのアンケート調査で情報伝達手段の多様化の有効性を検証

5 スケジュール

日付	時刻	項目
2月21日（木）	15:45～16:30 15:45～17:00 17:00	〔実施エリア：西大島駅前エリア〕 ・高性能スピーカの音達実験 ・統合型災害情報伝達システムの実験 ・実証実験終了
2月23日（土）	12:00頃 13:00頃	・災害情報メール ・災害情報メール
2月16日（土）～ 2月24日（日）	終日（24時間） 終日（24時間） 8:30～17:00 8:30～17:00	・エリアワンセグ放送 ・WiFi ホットスポット ・IP 電話 ・ネットワークカメラ

6 当日取材の方の対応

当日取材予定のマスコミの方は、事前に「7 問い合わせ先」にご連絡願います。

7 問い合わせ先

江東区総務部危機管理課

電話番号：03-3647-9382

旭市の実証実験概要

1 実施日時

平成25年2月20日（水）午後2時～3時　〔予備日2月24日（日）〕

2 実施場所

飯岡海水浴場周辺（旧いいおか荘前）及び三川小学校

3 実証実験項目

(1) 複数メディアによる防災情報の一括配信実験

・以下のメディアを使用し、防災情報の一括配信を行い、その効果を検証する。

- ①防災行政無線との連携放送
- ②ホーンアレイスピーカによる音声放送
- ③エリアメール・緊急速報メールとの連携配信
- ④防災メールとの連携配信
- ⑤ツイッターとの連携配信
- ⑥ホームページへの掲載
- ⑦電光掲示板の表示（サイレン放送含む）
- ⑧津波標識の表示（サイレン放送含む）
- ⑨校内放送との連携放送

4 検証、効果測定方法

実験参加者へのアンケート調査で情報伝達手段の多様化の有効性を検証

5 スケジュール

時刻	項目
14:00	訓練開始　〔飯岡海水浴場と三川小学校を同時実施〕 ・防災行政無線による音声放送 ・ホーンアレイスピーカによる音声放送 ・エリアメール（緊急速報メール）の配信 ・ツイッターの配信 ・防災メールの配信 ・旭市ホームページへの掲載 ・電光掲示板の表示（サイレン放送含む） ・津波標識の表示（サイレン放送含む） ・校内放送との連携（三川小学校のみ）
15:00	終了

6 当日取材の方の対応

当日取材予定のマスコミの方は、事前に「7 問い合わせ先」にご連絡願います。

7 問い合わせ先

旭市総務課地域安全班

電話番号：0479-62-5311

釜石市の実証実験概要

1 実施日時

平成25年2月22日（金）～27日（水）（28日予備日）

2 実施場所

釜石市役所・釜石市内（天神町・鵜住居町（日向地区）・鈴子町・新浜町・平田（平田））

3 実証実験項目

- （1）耐災害性向上実験
- （2）防災行政無線（同報系）の簡易操作送信
- （3）緊急速報メール（エリアメール）等の連携
- （4）モバイルメールの連携
- （5）CATV連携
- （6）デジタル移動無線システムの活用

4 検証、効果測定方法

実験参加者へのアンケート調査で情報伝達手段の多様化の有効性を検証

5 スケジュール

日付	時刻	項目
2月22日（金）	13:30～15:00	・耐災害性向上実験（ポータブル操作卓、地区遠隔制御装置からの防災無線起動） ・防災行政無線（同報系）の簡易操作送信実験
2月25日（月） 2月26日（火）	10:00～11:30	・緊急速報メール等の連携 ・モバイルメールの連携（※）
	13:30～15:00	・緊急速報メール等の連携 ・モバイルメールの連携（※） ・デジタル移動無線システムの活用 ・CATV連携（自主放送データ放送）（※）
2月27日（水）	10:00～11:30	・緊急速報メール等の連携
2月28日（木）		※予備日

※の実施時刻については、変更の可能性有り。

6 当日取材の方の対応

当日取材予定のマスコミの方は、事前に「7 問い合わせ先」にご連絡願います。

7 問い合わせ先

釜石市危機管理監防災危機管理課

電話番号：0193—22—2111

大槌町の実証実験概要

1 実施日時

平成25年2月23日（土）午前9時～12時

2 実施場所

大槌町役場庁舎・大槌町内（桜木町及び花輪田地区）

3 実証実験項目

- （1）防災行政無線による音声放送実験
- （2）携帯メール・エリアメール送信実験
- （3）防災行政無線及びエリアメールの一括操作による自動配信実験
- （4）町役場-避難所間非常電話による通話実験
- （5）エリアワンセグ放送による情報伝達実験
- （6）防災無線監視実験
- （7）920MHz帯無線による音声放送バックアップ実験

4 検証、効果測定方法

- （1）自動配信装置の所要時間の測定及び操作員へのアンケート調査
- （2）エリアワンセグ放送地区と放送外地区との避難行動の比較及びアンケート調査
- （3）防災行政無線アンサーバック異常の把握に係る感度、920MHz帯によるバックアップ放送までの所要時間の測定
- （4）防災行政無線バックアップ放送に係る対象地区住民へのアンケート調査等

5 スケジュール

時刻	項目
09:00	訓練開始 ・携帯メール、エリアメール配信 ・エリアワンセグ放送実験
10:00	・避難準備情報メール配信及び音声放送
10:45	・避難勧告情報メール配信及び音声放送（920MHz帯によるバックアップ放送）
12:00	終了

6 当日取材の方の対応

当日取材予定のマスコミの方は、事前に「7 問い合わせ先」にご連絡願います。

7 問い合わせ先

大槌町総務部総務課

電話番号：0193—42—8710

気仙沼市の実証実験概要

1 実施日時

平成25年2月23日（土）午前10時～12時

2 実施場所

気仙沼市役所・魚市場・市立病院・気仙沼市内（沿岸部・住宅地・公民館・避難所等）

3 実証実験項目

- （1）複数の情報メディアによる災害情報伝達の多様性の実験
- （2）デジタルサイネージの耐災害性の実験
- （3）遠隔操作による災害情報発信の実験
- （4）ネットワークの多様性による災害情報発信の実験
- （5）災害情報伝達制御システムの操作利便性の実験

4 検証、効果測定方法

- （1）連携された情報メディアに一斉に災害情報発信が可能であること
- （2）デジタルサイネージの商用電源を48時間断（21日遮断開始）とし、蓄電池とソーラパネルにて運用可能であること
- （3）市役所以外の出先機関から災害情報発信操作が可能であること
- （4）気仙沼市以外の地理的に離れた場所から災害情報発信操作が可能であること
- （5）簡単なレクチャー後、職員による災害情報発信操作が可能であること

5 スケジュール

時刻	項目
10:00	訓練開始 実験1 発災直後の緊急性の高い情報の伝達
10:10	実験2 移動中の避難者への情報伝達
10:20	実験3 孤立避難者への情報伝達
10:30	実験4 市内の被害状況復旧状況等の伝達
12:00	終了

6 当日取材の方の対応

当日取材予定のマスコミの方は、事前に「7 問い合わせ先」にご連絡願います。

7 問い合わせ先

気仙沼市総務部危機管理課

電話番号：0226—22—3402

住民への災害情報伝達手段の多様化実証実験対象自治体の提案概要

	主な実証実験の内容
岩手県 大槌町	・ 920MHz 無線マルチホップによる防災行政無線の多重化（バックアップ）、防災行政無線監視、避難所非常電話 ・ エリアワンセグの活用
岩手県 釜石市	・ 防災行政無線を広報車のスピーカから自動放送するシステム ・ 通信回線の冗長化（無線網、有線網の活用） ・ エリアワンセグの活用
宮城県 気仙沼市	・ 遠隔地にデータセンタを設置しリモート制御を可能とする防災情報伝達制御システムの導入と複数メディアへの一括自動配信 ・ デジタルサイネージの活用
千葉県 旭市	・ 防災情報伝達制御システム ・ 複数メディアへの一括配信（校内放送連携、高性能スピーカ、デジタルサイネージ、津波標識・表示灯）
東京都 江東区	・ 多様な電源設備の活用（ソーラーと風力のハイブリッド発電設備） ・ 気密性の高い高層マンションの館内放送設備と連動したシステムの活用 ・ 高性能スピーカの活用
東京都 豊島区	・ 都市、繁華街に対応した情報伝達（駅、商業施設運営者等との情報共有・連携） ・ 複数メディアへの一括発信 ・ 情報伝達作業の自動化

【各自治体の提案の共通事項】

○防災行政無線（同報系）と緊急速報メールとの連携